

洪水

ハザードマップの作成は

新たに作成したい



議員 清 貴 (政 和 会)

問 西日本豪雨災害等自然災害が発生しているが町内洪水ハザードマップの作成を考えているか。

佐藤町長 22年に豊間根川・荒川川の洪水ハザードマップを作成している。県の洪水浸水想定区域の見直しに基づき新たに作成したい。

問 洪水、土砂災害等の避難場所、避難方法等の住民への周知は。また、福祉施設、学校等への情報等の伝達方法は。

町長 災害の種類により避難場所を指定し、周知している。情報伝達は防災行政無線を主として福祉施設にはフアクス、学校には戸別受信機により情報伝達に努めている。

問 準用河川西川の上流は、宅地の背後地を流れているが増水時に氾濫が

一般質問

心配される。整備計画は。町長 整備計画はないが、適正な維持管理に努める。

問 定期的な河川パト

ロールで個人が土のうを積んでいる状況を把握できなかつたのか。

民建設課長 通常時の維持管理、点検等に危機感を持って対応したい。



氾濫が心配される飯岡地区の準用河川

その他の質問

- ◆長崎・飯岡地区の消防水利の充足率は
- ◆山田地区の宅地引き渡しは予定どおりか
- ◆学校敷地内のブロック塀調査結果は

通学カバンの重さの調査は

改めて調査したことはない

問 中学生の通学カバンの重さについては、全国的に論議されているが本町の実状を父兄、生徒から調査したことはあるか。

をどうするのか。

箱山教育次長 学校に話をし、子どもの声を聞いて対応したい。

佐々木教育長 調査をしたことはない。各学校では持ち帰らなくてもいい教材を明示するなど対応している。

問 防犯灯の設置要望等に学校、PTAおよび児童生徒から危険箇所、必要箇所を調査したことがあるか。

問 文部科学省でも通知を出すようであるが対応

教育長 調査は実施していないが学校ごとに確認し、必要に応じて協議している。

南小の児童クラブの整備は

町有施設の利活用等を

念頭に置き判断

問 南小学校の放課後児童クラブは、校舎を間借りしている。今後、施設の整備をどのように考えているのか。

問 学校再編時に間に合うのか。

町長 専用施設の整備計画はないが、町有施設の利活用等を念頭に置き判断すべきと考える。

野口健康子ども課長 どのような補助金があるのか、どのように事業展開をしていくのかなどを検討している。学校再編時に向けて進めていきたい。